

増収増益で過去最高に

ポラスグループ17年度3月期連結

独自の街づくりなど奏功

ポラスグループ(中内 晃次郎代表)は26日、2017年3月期の決算説明会を開催した。

それによると、売上高1932億2900万円(前期比10・9%増)、営業利益132億8700万円(同33・8%増)、



会見する中内代表

で、ポラス独自の魅力ある街づくりをはじめ、耐震技術、ライフプラン提案などが購入者から支持を得たほか、大型マンション開発、木造非住宅物件の受注拡大、プレカット事業における外販拡大などが寄与した。

グループ全体としての戸建住宅の契約棟数は、分譲住宅2219棟(同5・4%減)、注文住宅807棟(同5・1%増)。

売上棟数は2312棟(同5・0%増)、注文住宅775棟(同0・4%減)だった。

分譲住宅の契約棟数が減少したことについて中央住宅の品川典久社長は「昨年度の後半から新規売上物件が減少したため」としたうえで、5千万円以上の物件が前期比で78棟伸びたこともあり、平均価格は3913万円(同141万円増)となった。

分譲事業の主力会社である中央住宅の業績は売上高688億4千万円

(同12・5%増)、営業利益50億1400万円(同25・2%増)、経常利益50億円3100万円(同21・9%増)、当期純利益29億円8200万円(同18・5%増)。

一方、プレカット事業を主体に行うポラテックの業績は、構造材生産坪数が過去最高を更新したことなどもあり、売上高723億600万円(同5・4%増)、営業利益32億400万円(同20・3%増)、経常利益34億円4300万円(同19・3%増)、当期純利益20億円8200万円(同23・9%増)。

18年3月期は、ポラスオリジナル倒壊シミュレーション「ウッド・インペーティブNEXT」とオペレーターによる安全な家作りを推進することにより、グループの売上高1950億円(前期比0・9%増)、営業利益150億円(同12・9%増)、経常利益150億円(同8・5%増)、純利益38億円(同3・4%増)を見込む。売上棟数は分譲住宅2600棟(同12・5%増)、注文住宅997棟(同28・6%増)としている。